

2007 度 「読書への誘い」 紹介した詩・文章 一覧

号	詩・作品名	作者	文章・作品名	作者・筆者
第 131 号	短 地下水	川崎 洋	随想 物語の役割	小川 洋子
第 132 号	短 婚約	辻 征夫	講演 入学式祝辞	福島 智
第 133 号	短 朝のリレー	谷川俊太郎	小説 一瞬の風になれ	佐藤多佳子
第 134 号	短 さかな	まど・みちお	随想 子どもは判ってくれない	内田 樹
第 135 号	短 だっこ	工藤 直子	随想 世界を信じるためのメソッド	森 達也
第 136 号	短 朝のパン	石垣 りん	随想 14 歳の君へ	池田 晶子
第 137 号	短 花と苑と死	吉野 弘	論説 もしもウサギにコーチがいたら	伊藤 守
第 138 号	短 薔薇二曲	北原 白秋	小説 いつか記憶からこぼれ落ちるとしても	江國 香織
第 139 号	長 あいうえおおさかくだおれ	島田 陽子	随想 裁判官の爆笑お言葉集	長嶺 超輝
第 140 号	短 夏の終わり	伊藤 静雄	随想 根をもつこと、翼を持つこと	田口 ランディ
第 141 号	短 土へのオード 5	新川 和江	小説 約束	石田 衣良
第 142 号	短 きもち	さくらももこ	随想 世界を見る目が変わる 50 の事実	ジェシカ・ウィリアムズ
第 143 号	短 空	奥田 恭一	論説 遺伝子からのメッセージ	村上 和雄
第 144 号	短 海	黒田 三郎	論説 14 歳からの仕事道	玄田 有史
第 145 号	短 動詞の話	安水 稔和	随想 真昼の星空	米原 万里
第 146 号	短 忘れた	吉原 幸子	小説 対岸の彼女	角田 光代
第 147 号	短 一つのメルヘン	中原 中也	小説 ジェネレーション X	森 絵都
第 148 号	短 どうしてだろうと	まど・みちお	随想 <旭山動物園> 革命	小菅 正夫
第 149 号	短 背中	黒瀬 勝巳	小説 睡蓮	恩田 陸
第 150 号	短 ばった	郡山半次郎	論説 17 歳のための世界と日本の見方	松岡 正剛
第 151 号	短 バダグシャンの泉	田代芙美子	随想 像のブランコ—とちゃんと—	工藤 直子
第 152 号	短 木は旅が好き	茨木のり子	随想 「言語技術」が日本のサッカーを変える	田嶋 幸三
第 153 号	短 言葉は	杉本深由起	随想 ころへの贈り物	海原 純子
第 154 号	短 名乗るほどの者ではない	伊藤 芳博	随想 魂のみなもとへ—詩と哲学のデュオ	谷川俊太郎・長谷川宏
第 155 号	短 笑うこと	田中 章義	随想 いのち—生命科学に言葉はあるか—	最相 葉月
第 156 号	短 一九九〇年の朝の食卓	八木 幹夫	論説 文章読本さん江	斎藤美奈子
第 157 号	長 カレーライス	草野 信子	随想 そっと耳を澄ませば	三宮麻由子
第 158 号	短 不明	尾崎 昭代	小説 キッチン	吉本ばなな
第 159 号	短 僕が僕であるために	尾崎 豊	随想 おむすびの祈り—「森のイスキア」にころの歳時記	佐藤 初女
第 160 号	短 独楽	下田喜久美	随想 魂の旅—地球交響曲第三番—	龍村 仁